



## 研究者と家族の抱える問題 実態調査 2020

### エグゼクティブサマリ

NPO 法人ケイロン・イニシアチブ

#### [Result]

- ・アンケート参加者 231 件から、本質問に関して留学中・経験ありの家族及びその家族から該当する 117 件の有効回答が得られた。
- ・最も多くの方から課題として挙げられたのは、留学・赴任に関する費用が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない、で 62%。次いで、50%の方から家族のキャリアパス（配偶者が仕事をやめなければならなかった、ビザの種類によって働くことができなかった）についての問題が挙げられた。また、研究者の留学・赴任に家族を帯同しなかったケースについて別途、理由をお伺いしたところ（有効回答 28 件）、実に 3/4 (21 件)の方が配偶者のキャリアパスを原因として挙げていた。
- ・その他、4 割以上の方が、留学関連、現地関連、健康・医療関連情報が十分でなかったり、まとまっていない問題を挙げていた。また、お子さんがいらっしやらない方も含まれる全回答のうち 3 割以上が、出産・育児、子供の教育に関する問題を抱えていたことがわかった。

#### [Discussion]

- ・海外在住を含めて研究者の家族の回答者は 30-40 代がピークになっている。20 代では家族を伴っての留学は難しい可能性がある
- ・子供の問題としては、海外においては乳幼児から小学校までが主体で、戻ってきてからは小学校以降の問題が主体となる可能性がある or 総計では 13 人(30.2%)いる中学生以上が、海外在住となると 2 人になっており、やはり中学生以上を帯同することに躊躇している可能性もある
- ・過去海外帯同した経験がある日本在住家族は 100%が帯同してよかったと思っているのに対し、研究者本人の回答で家族を帯同したこと・することへのネガティブな回答をした人が約 10%もいて、意識のズレがある可能性がある
- ・留学・赴任中に困ったことについて、語学に関する問題と子どもの教育に関する問題は、現在海外在住中で高い一方で、日本在住帯同経験ありの家族では比較的低くなっている。帰ってきたら当時の大変さを忘れた可能性も否定できないが、苦勞してでも現地で頑張ったことが帰国後報われる可能性も考えられる。
- ・海外留学・赴任に帯同する機会がなかった研究者家族が 44.4%もいる一方で、家族の帯同機会があったが帯同せず、金銭的・生活の不安では解決できない問題を 9.7+16.1 = 25.8%の人は抱えていたということ → これは何かを明らかにすることが今後の課題の一つ



[Conclusion]

- ・研究者の海外留学に帯同する家族には、金銭的・情動的支援が必要であり、その支援の対象としては、配偶者のキャリアパスや出産・育児・医療、子どもの教育（特に中学生以上が問題か？）が挙げられる。
- ・20代を主体として海外留学・赴任に帯同する機会がなかった研究者家族は44.4%もあり、そのうちさらに25.8%が金銭的・情動的支援以外の問題も抱えていた可能性があり、今後の課題の一つとなる。また、過去海外帯同した経験がある日本在住家族は100%が帯同してよかったと思っているのに対し、研究者本人の回答で家族を帯同したこと・することへのネガティブな回答をした人が約10%もいて、意識のズレがある可能性もある。
- ・留学・赴任中に困ったことについて、語学に関する問題と子どもの教育に関する問題は、現在海外在住中で高い一方で、日本在住帯同経験ありの家族では比較的低くなっており、苦勞してでも現地で頑張ったことが帰国後報われる可能性も考えられるため、留学帯同前の情報共有も重要となる可能性がある。



## アンケート概要

- ① アンケート期間：2019年10月12日～2020年1月31日
- ② アンケート所要時間：3-4分程度
- ③ アンケート対象者：世界中の研究者および研究者を支えるご家族の方  
分野も生命科学のみならず文系 / 理工系等、全ての研究分野を含む
- ④ Google フォームを用いて情報収集。アンケート依頼文は以下のとおり



2019年10月12日

### 世界中の研究者および研究者を支えるご家族の方へ

「研究者と家族の抱える課題」を明らかにするアンケートのお願い

\*当アンケートは、ポストク/PIを含む全日本人研究者および、その家族を対象としています。  
また、分野も生命科学のみならず文系 / 理工系等、全ての研究分野を含みます。

謹啓

□時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

NPO法人ケイロン・イニシアチブは、「未来の研究発展に不可欠である研究者と家族の支援」を目的に、令和元年に設立致しました。研究者の大半は非正規雇用のため、ライフイベントの様々な場面において多くの課題に直面します。産休や育児休業、自信のキャリアの見通しや子供の教育。海外留学の場合には、上記に加えて生活に関する情報の不足や言語の壁、配偶者のキャリアの問題などが加わります。

今回、当法人では、研究者および研究者を支えるご家族の抱える課題を明らかにするアンケート調査を実施し、その結果を参加していただいた皆さまへフィードバックするのみならず、貴重な情報源として省庁・公的機関における政策・行政に反映していただく為の根拠として提示します。さらに、明らかとなった課題を解決すべく、行政や民間企業と連携し、当法人独自の研究者のご家族の支援制度の構築を推進していきたいと考えております。

なお、この調査結果は当法人における研究者・家族の支援策の基盤情報等として活用するとともに、Webサイト・ニュースレター・電子マガジン等で公開致します。データ分析は、統計分析を通じて行いますので、数量化されて、個人は特定されません。また、調査結果を報告等に用いる場合にも、同様に個人を特定する情報は公表されません。このアンケート調査を通じて得た個人情報の取扱については、当法人の個人情報保護規定に基づいて、適切に対処させていただきますことを申し添えます。

敬具

NPO法人ケイロン・イニシアチブ

役員一同

E-mail : [info@cheiron.jp](mailto:info@cheiron.jp)

ウェブサイト : <https://www.cheiron.jp>

<https://www.facebook.com/cheironjp>

<https://twitter.com/cheironjp>

### ⑤ アンケート送付先

UJA、XPLANE、WPI、SNS等を通じて配布



## 研究者と家族の抱える問題 実態調査 報告書

2020年3月24日

増村悠爾

- ・質問が特定の区分の回答者にされているときは、小計、総計の右横に記載しました。
- ・質問番号はこちらでつけました。（実際の質問には通し番号なし）
- ・複数選択肢を選べる場合には、通常の割合ではなく回答者数に占める割合を記載しました。
- ・割合および回答者数に占める割合については小数点第2桁を四捨五入しました

### 質問1 「ご賛同いただける方は、ご協力をお願いいたします」

総計

番号	回答	回答数	割合
1	上記に賛同し、アンケートに回答する。	231	100.0%

質問2 「あなたは研究者（アカデミア、企業を問わない。医師・薬剤師、研究補助員等含む。）ですか？それとも研究者の家族ですか？なお、研究者かつ研究者の家族の人は、研究者の家族を優先してご回答ください。」

総計

番号	回答	回答数	割合
1	研究者	179	77.5%
2	研究者の家族	52	22.5%
計		231	100%



### 質問3「現在の居住地を教えてください。」

総計

番号	回答	回答数	割合
1	海外	59	25.5%
2	日本	172	74.5%
計		231	100%

小計1 研究者の家族

番号	回答	回答数	割合
1	海外	16	30.8%
2	日本	36	69.2%
計		52	100%

小計2 研究者

番号	回答	回答数	割合
1	海外	43	24.0%
2	日本	136	76.0%
計		179	100%

### 質問4「あなたの年齢」

総計 研究者の家族

番号	回答	回答数	割合
1	20代	4	7.7%
2	30代	20	38.5%
3	40代	23	44.2%
4	50代	5	9.6%
5	60代	0	0.0%
計		52	100%



#### 小計1 研究者の家族、海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	20代	1	6.3%
2	30代	10	62.5%
3	40代	5	31.3%
4	50代	0	0.0%
5	60代	0	0.0%
計		16	100%

#### 小計2 研究者の家族、日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	20代	3	8.3%
2	30代	10	27.8%
3	40代	18	50.0%
4	50代	5	13.9%
5	60代	0	0.0%
計		36	100%

### 質問5「性別」

#### 総計 研究者の家族

番号	回答	回答数	割合
1	女性	43	82.7%
2	男性	7	13.5%
3	無回答	2	3.8%
計		52	100%

#### 小計1 研究者の家族 海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	女性	14	87.5%
2	男性	0	0.0%
3	無回答	2	12.5%



計		16	100%
---	--	----	------

小計2 研究者の家族 日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	女性	29	80.6%
2	男性	7	19.4%
3	無回答	0	0.0%
計		36	100%

質問6「以下のうち当てはまるものを選択してください。(その他の例：配偶者以外の家族が研究者の場合など)」

総計

番号	回答	回答数	割合
1	配偶者ありで共働き	34	66.7%
2	配偶者が研究者、あなたが専業主婦/夫	11	21.6%
3	その他	6	11.8%
計		51	100%

その他：下記の小計参照

小計1 研究者の家族 海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	配偶者ありで共働き	5	31.3%
2	配偶者が研究者、あなたが専業主婦/夫	9	56.3%
3	その他	2	12.5%
計		16	100%

その他：「配偶者が研究者、私自身は大学院生」、「配偶者の赴任にともない休職」



#### 小計2 研究者の家族 日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	配偶者ありで共働き	29	80.6%
2	配偶者が研究者、あなたが専業主婦/夫	2	5.6%
3	その他	5	13.9%
計		36	100%

その他：「息子」、「夫婦ともに研究者」、「配偶者が研究者、自身も研究者、共働き」、「私が研究者兼専業主婦、配偶者が研究者兼常勤」、「配偶者が研究者、私が大学院生」

#### 質問7「以下のうち当てはまるものを全て選択してください。」

##### 選択肢別

(選択肢が区分によって多少異なるため、回答者の区分をまとめたものは作成しておりません。)

#### 小計1 研究者の家族、海外在住

回答者数：16

番号	回答	回答数	割合
1	単身赴任/独居	0	0.0%
2	配偶者および子供と同居	11	73.3%
3	配偶者のみと同居	2	12.5%
4	子どもと同居	1	6.7%
5	親と同居	1	6.7%
6	その他の親戚と同居	0	0.0%
7	その他	1	6.7%

その他：「配偶者と同居」

#### 小計2 研究者の家族、日本在住

回答者数：36

番号	回答	回答数	割合
1	単身赴任/独居	6	9.8%
2	配偶者と同居	26	42.6%
3	子どもと同居	27	44.3%
4	両親と同居	1	1.6%
5	その他の親戚と同居	0	0.0%
6	その他	1	1.6%

その他：「夫のみ海外に単身赴任」





回答別（複数回答をしている場合、;でつなげている）

小計1 研究者の家族 海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	配偶者と同居	1	6.3%
2	配偶者および子供と同居	11	68.8%
3	子どもと同居	1	6.3%
4	親と同居	1	6.3%
5	配偶者のみと同居	2	12.5%
計		16	100%

小計2 研究者の家族、日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	配偶者と同居;子どもと同居	21	58.3%
2	子どもと同居	3	8.3%
3	配偶者と同居	4	11.1%
4	単身赴任/独居	4	11.1%
5	単身赴任/独居;子どもと同居	1	2.8%
6	子どもと同居;両親と同居	1	2.8%
7	子どもと同居;夫のみ海外に単身赴任	1	2.8%
8	単身赴任/独居;配偶者と同居	1	2.8%
計		36	100%

質問8 「子どもがいる場合、子どもの数を選択して下さい(妊娠中を含む)。」

総計

番号	回答	回答数	割合
1	3人以上	6	13.6%
2	2人	15	34.1%
3	1人	23	52.3%
計		44	100%

小計1 研究者の家族、海外在住



番号	回答	回答数	割合
1	3人以上	5	35.7%
2	2人	3	21.4%
3	1人	6	42.9%
計		14	100%

小計2 研究者の家族、日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	3人以上	1	3.3%
2	2人	12	40.0%
3	1人	17	56.7%
計		30	100%

質問9「子どもがいる場合、子どもの年代を選択してください（複数の場合はそれぞれ選択）。」

選択肢別

総計

回答者数 43

番号	回答	回答数	回答者に占める割合
1	妊娠中	1	2.3%
2	乳児（0-2歳程度）	13	30.2%
3	幼児（3-6歳程度）	17	39.5%
4	小学校（7-12歳程度）	18	41.9%
5	中学・高校（13-18歳程度）	9	20.9%
6	それ以上（19歳程度以上）	4	9.3%

小計1 研究者の家族、海外在住

回答者数 14

番号	回答	回答数	回答者に占める割合
1	妊娠中	0	0.0%
2	乳児（0-2歳程度）	4	28.6%
3	幼児（3-6歳程度）	8	57.1%
4	小学校（7-12歳程度）	6	42.9%
5	中学・高校（13-18歳程度）	1	7.1%



6	それ以上（19歳程度以上）	1	7.1%
---	---------------	---	------

小計2 研究者の家族、日本在住

回答者数 29

番号	回答	回答数	回答者に占める割合
1	妊娠中	1	3.4%
2	乳児（0-2歳程度）	9	31.0%
3	幼児（3-6歳程度）	9	31.0%
4	小学校（7-12歳程度）	12	41.4%
5	中学・高校（13-18歳程度）	8	27.6%
6	それ以上（19歳程度以上）	3	10.3%

回答者別（複数回答をしている場合、;でつなげている）

総計

番号	回答	回答数	割合
1	妊娠中;乳児（0-2歳程度）	1	2.3%
2	乳児（0-2歳程度）	9	20.9%
3	乳児（0-2歳程度）;幼児（3-6歳程度）	2	4.7%
4	乳児（0-2歳程度）;幼児（3-6歳程度）;小学校（7-12歳程度）	1	2.3%
5	幼児（3-6歳程度）	6	14.0%
6	幼児（3-6歳程度）;小学校（7-12歳程度）	7	16.3%
7	幼児（3-6歳程度）;小学校（7-12歳）;中学・高校（13-18歳程度）	1	2.3%
8	小学校（7-12歳程度）	5	11.6%
9	小学校（7-12歳）;中学・高校（13-18歳程度）	2	4.7%
10	小学校（7-12歳）;それ以上（19歳程度以上）	2	4.7%
11	中学・高校（13-18歳程度）	5	11.6%
12	中学・高校（13-18歳程度）;それ以上（19歳程度以上）	1	2.3%
13	それ以上（19歳程度以上）	1	2.3%
計		43	100%



小計1 研究者の家族、海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	乳児 (0-2 歳程度)	2	14.3%
2	乳児 (0-2 歳程度); 幼児 (3-6 歳程度)	1	7.1%
3	乳児 (0-2 歳程度); 幼児 (3-6 歳程度); 小学校 (7-12 歳程度)	1	7.1%
4	幼児 (3-6 歳程度)	3	21.4%
5	幼児 (3-6 歳程度); 小学校 (7-12 歳程度)	3	21.4%
6	小学校 (7-12 歳程度)	2	14.3%
7	中学・高校 (13-18 歳程度)	1	7.1%
8	それ以上 (19 歳程度以上)	1	7.1%
計		14	100%

小計2 研究者の家族、日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	妊娠中; 乳児 (0-2 歳程度)	1	3.4%
2	乳児 (0-2 歳程度)	7	24.1%
3	乳児 (0-2 歳程度); 幼児 (3-6 歳程度)	1	3.4%
4	幼児 (3-6 歳程度)	3	10.3%
5	幼児 (3-6 歳程度); 小学校 (7-12 歳程度)	4	13.8%
6	幼児 (3-6 歳程度); 小学校 (7-12 歳); 中学・高校 (13-18 歳程度)	1	3.4%
7	小学校 (7-12 歳程度)	3	10.3%
8	小学校 (7-12 歳); 中学・高校 (13-18 歳程度)	2	6.9%
9	小学校 (7-12 歳); それ以上 (19 歳程度以上)	2	6.9%
10	中学・高校 (13-18 歳程度)	4	13.8%
11	中学・高校 (13-18 歳程度); それ以上 (19 歳程度以上)	1	3.4%
計		29	100%



質問 10 「留学・赴任に関して、以下のうち当てはまるものを選択してください。」

区分によって選択肢が異なるため総計は算出していません。

小計 1 研究者家族 海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	海外留学・赴任に帯同してとてもよかった	5	31.3%
2	海外留学・赴任に帯同してよかった	10	62.5%
3	海外留学・赴任に帯同してよかったとあまり思っていない	0	0.0%
4	海外留学・赴任に帯同してよかったと思っていない	1	6.3%
計		16	100%

小計 2 研究者の家族、日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	海外留学・赴任に帯同した経験があり、帯同してよかったと思っている	18	50.0%
2	海外留学・赴任に帯同した経験があり、帯同してよかったと思っていない	0	0.0%
3	海海外留学・赴任に帯同しなかった（単身赴任だった）経験があり、帯同してみればよかったと思っている	1	2.8%
4	海外留学・赴任に帯同しなかった（単身赴任だった）経験があり、帯同してみればよかったと思っていない	1	2.8%
5	海外留学・赴任に帯同する機会がなかった	16	44.4%
計		36	100%



### 小計3 研究者 海外在住

番号	回答	回答数	割合
1	海外留学・赴任に家族を帯同しており、帯同してよかったと思っていない	2	4.7%
2	海外留学・赴任に家族を帯同しており、帯同してよかったと思っている	33	76.7%
3	海外留学・赴任に家族を帯同しておらず（単身赴任など）、帯同してみればよかったと思っている	5	11.6%
4	海外留学・赴任に家族を帯同しておらず（単身赴任など）、帯同してみればよかったと思っていない	0	0.0%
5	海外留学・赴任に家族を帯同する機会はなかった（独身だったなど）	3	7.0%
計		43	100%

### 小計4 研究者 日本在住

番号	回答	回答数	割合
1	海外留学・赴任に家族を帯同した経験があり、帯同してよかったと思っている	44	32.4%
2	海外留学・赴任に家族を帯同した経験があり、帯同してよかったと思っていない	5	3.7%
3	海外留学・赴任に家族を帯同しなかった（単身赴任など）経験があり、帯同してみればよかったと思っている	16	11.8%
4	海外留学・赴任に家族を帯同しなかった（単身赴任など）経験があり、帯同してみればよかったと思っていない	8	5.9%
5	海外留学・赴任に家族を帯同する機会はなかった（独身だったなど）	24	17.6%
6	家族はいるが、海外留学・赴任の機会がなかった	39	28.7%
計		136	100%



質問 11 「留学・赴任中に困ったことに関して、以下のうち当てはまるものを全て選択してください。」

選択肢別

総計

\* 研究者とその家族で微妙に選択肢が異なるので回答は併記している、

\* 上から研究者の家族、研究者の順 回答者数 115 (家族 : 34、研究者 : 81)

番号	回答	回答数	回答数	回答者数に占める割合
1	留学・赴任に関する費用が十分でない	18	71	61.7%
	留学・赴任に関する費用が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	53		
2	留学・赴任に関する情報が十分でない、まとまっていない	13	53	46.1%
	留学・赴任の家族に関する情報が十分でない、まとまっていない	40		
3	留学・赴任先の現地の情報が得られない、得るのが困難	13	51	44.3%
	留学・赴任先の家族に関する現地の情報が得られない、得るのが困難	38		
4	家族の健康・医療に関する問題	17	59	51.3%
	同上	42		
5	家族が健康保険に入れない、十分でない	7	23	20.0%
	同上	16		
6	自分のキャリアパス	19	59	51.3%
	家族のキャリアパス	40		
7	語学に関する問題	12	50	43.5%
	家族の語学に関する問題	38		
8	出産・育児に関する問題	13	48	41.7%
	同上	35		
9	お子さんの教育に関する問題	9	27	23.5%
	同上	18		
10	配偶者との問題	7	23	20.0%
	同上	16		
11	その他	6	11	9.6%



	同上	5		
--	----	---	--	--

小計1 研究者の家族、海外在住

回答者数 16

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	留学・赴任に関する費用が十分でない	9	56.3%
2	留学・赴任に関する情報が十分でない、まとまっていない	7	43.8%
3	留学・赴任先の現地の情報が得られない、得るのが困難	6	37.5%
4	家族の健康・医療に関する問題	8	50.0%
5	家族が健康保険に入れない、十分でない	5	31.3%
6	自分のキャリアパス	9	56.3%
7	語学に関する問題	7	43.8%
8	出産・育児に関する問題	6	37.5%
9	お子さんの教育に関する問題	6	37.5%
10	配偶者との問題	3	18.8%
11	その他	5	31.3%

その他：「駐在家庭との格差激しく狭い日本人社会についていけない」、「日本との食住の違いについて最適解がわからない」、「仕事の時間が長すぎて、配偶者や家族との関係が壊れる」、「仕事の時間が長すぎて、配偶者や家族との関係が壊れる」、「海外留学に帯同する家族には、言葉にしづらい(表現しづらい)独特の不安と葛藤があると思いました。」\*同様の回答が2つ存在

小計2 研究者の家族 日本在住 赴任経験あり

回答者数 18

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	留学・赴任に関する費用が十分でない	9	50.0%
2	留学・赴任に関する情報が十分でない、まとまっていない	6	33.3%
3	留学・赴任先の現地の情報が得られない、得るのが困難	7	38.9%
4	家族の健康・医療に関する問題	9	50.0
5	家族が健康保険に入れない、十分でない	2	11.1%
6	自分のキャリアパス	10	55.6%
7	語学に関する問題	5	27.8%
8	出産・育児に関する問題	7	38.9%
9	お子さんの教育に関する問題	3	16.7%
10	配偶者との問題	4	22.2%
11	その他	1	5.6%





その他：「夫婦の国籍が異なるので、滞在資格問題」

小計3 研究者

回答者数 81

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	留学・赴任に関する費用が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	53	65.4%
2	留学・赴任の家族に関する情報が十分でない、まとまっていない	40	49.4%
3	留学・赴任先の家族に関する現地の情報が得られない、得るのが困難	38	46.9%
4	家族の健康・医療に関する問題	42	51.9%
5	家族が健康保険に入れない、十分でない	16	19.8%
6	家族のキャリアパス	40	49.4%
7	家族の語学に関する問題	38	46.9%
8	出産・育児に関する問題	35	43.2%
9	お子さんの教育に関する問題	18	22.2%
10	配偶者との問題	16	19.8%
11	その他	5	6.2%

その他：「アパート・家の情報が不十分、子供を現地校に通わせるかインターナショナルスクールへ通わせるか問題、留学後に生じる配偶者の抑うつ状態」、「私の妻は、配偶者の都合（留学）により留学の数カ月前に仕事を辞めたが、自己都合退職扱いになり雇用保険を受給できなかった。」、「特にない」、「年金が給料から引かれていたが帰国したため300万円ほど取られ損になった。返金もない。」、「配偶者とは留学先で出会ったが、職場がそれぞれ遠く通勤が大変だった」

\*回答別は未作成



質問 12 「日本での生活で困ったことに関して、以下のうち当てはまるものを全て選択してください。」

選択肢別

総計

回答者数 171

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない 研究者の給与が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	105	61.4%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない 研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	83	48.5%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	29	17.0%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	22	12.9%
5	出産・育児に関する問題	71	41.5%
6	配偶者との問題	31	18.1%
7	その他	37	21.6%

小計 1 研究者の家族

回答者数 42

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない	16	38.1%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	21	50.0%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	3	7.1%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	4	9.5%
5	出産・育児に関する問題	20	47.6%
6	配偶者との問題	9	21.4%
7	その他	16	38.1%



小計 1-1 研究者の家族 海外在住

回答者数 12

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない	3	25.0%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	9	75.0%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	1	8.3%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	1	8.3%
5	出産・育児に関する問題	5	41.7%
6	配偶者との問題	3	25.0%
7	その他	6	50.0%

その他：「社会的立場の低さ」、「家族のための時間が取れない」、「家族のための時間が取れない」、「サラリーマン的付き合いが多いため家族の時間が少ない」、「日本では、夫は医師で、研究者であったので、収入も十分にあり、また労働時間も完全な臨床医よりは自由度が高く、特に問題はありませんでした。」、「日本で一緒に暮らした事がないので分かりません。」

小計 1-2 研究者の家族 日本在住 帯同の経験あり

回答者数 12

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない	3	25.0%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	5	41.7%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	0	0.0%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	1	8.3%
5	出産・育児に関する問題	5	41.7%
6	配偶者との問題	2	16.7%
7	その他	6	50.0%

その他：「研究で休みがない」、「子供が学校に通えているうちは既存の精度が利用できるが、いじめの後、不登校になった結果、オルタナティブなサポートがない。親が学習のサポートや付き添い、学校、病院、行政相談、カウンセリング等に時間を割かれ、結果として研究時間が削られる。」、「夫婦の国籍が異なるので、滞在資格問題、外国人の雇用問題」、「当てはまらない」、「研究者が家族と過ごす時間が少ない」、「単身赴任となる時 どちらが子供をいるかで葛藤する（両親どちらも研究者）」



小計 1-3 研究者の家族 日本在住 帯同の機会あり経験なし 回答者数 2

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない	1	50.0%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	1	50.0%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	0	0.0%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	1	50.0%
5	出産・育児に関する問題	0	0.0%
6	配偶者との問題	0	0.0%
7	その他	1	50.0%

その他：「特に困ったことはなかったが、配偶者と離れて暮らすことはつらかった。」

小計 1-4 研究者の家族 日本在住 帯同の機会なし経験なし 回答者数 16

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない	9	56.3
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	6	37.5%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	2	12.5%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	1	6.3%
5	出産・育児に関する問題	10	62.5%
6	配偶者との問題	4	25.0
7	その他	3	18.8%

その他：「保育園に希望するタイミングで入れない」、「夫婦共に研究者だと同じ大学に採用されるのは困難で単身赴任が増えるが、民間企業の単身そもそも別の大学職員だし赴任手当にあたる支援はない。」、「配偶者が研究室兼勤務先でパワーハラスメントにあった」



## 小計2 研究者

回答者数 129

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	89	69.0%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	62	48.0%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	26	20.2%
4	研究者の家族が健康保険に入れず、十分でない	18	14.0%
5	出産・育児に関する問題	51	39.5%
6	配偶者との問題	22	17.1%
7	その他	21	16.3%

### 小計2-1 研究者 海外在住 帯同している or 研究者 日本在住 帯同経験あり

回答者数 66

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	51	77.3%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	29	43.9%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	13	19.7%
4	研究者の家族が健康保険に入れず、十分でない	10	15.2%
5	出産・育児に関する問題	20	30.3%
6	配偶者との問題	12	18.2%
7	その他	11	16.7%

その他：「子育てしながら共働きという環境に対する職場の理解が浸透していない」、  
「特になし」、「多忙すぎて、家族の絆が希薄であった。」、「研究者という職種の特殊性を家族に理解してもらうことが困難。世間の理解が不十分。」、「質問の意味不明：研究者が外国滞在中、日本に残った家族に関する問いであれば、「特になし」」\*この回答者は家族を連れて留学・赴任経験ありと回答、「研究者が忙しすぎる」、「学振研究員の時は、年金は国民年金だった」、「配偶者も同業研究者だが、大学が配偶者の職について何の考慮もない（米国の充実ぶりと比較すると絶望的）。」、「ポストドクの給料が経験年数などを考慮していない上、大学の規定で一律でとても安い額に設定されている。（アメリカや韓国と比較しても明らかに安い。）」、「大学院卒業後、海外に在住しているため無回答」、「特に困っていない」



小計 2-2 研究者 海外在住 帯同機会あったが帯同せず

研究者 日本在住 帯同機会あったが帯同せず 回答者数 29

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	17	58.6%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	15	51.7%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	3	10.3%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	2	6.9%
5	出産・育児に関する問題	14	48.3%
6	配偶者との問題	2	6.9%
7	その他	8	27.6%

その他：「コミュニケーションは増えたかもしれませんが」、「夕方以降の会議は困る。学会の出張なども行きづらい」、「帰省旅費、単身赴任手当にたいする制限」、「配偶者のキャリアを考えると家族と一緒に住めない。」、「留学体験者や留学に関心をもつ希望者が職場に少なすぎる」、「子育てのために、研究時間が削られ、体力的にも無理ができないのに、業務が多すぎる。子育て中の出張など、無理をしてするか、あきらめるかになる。研究者であるのに、大学業務が多すぎるだけでなく、学生のメンタルケアなどもあり、先生という色が濃すぎて、研究に集中できる環境でない。」、「配偶者の就職機会が十分でない」、「同じ地域で研究職に努められる可能性が低すぎる」

小計 2-3 研究者 日本在住 家族はいるが帯同の機会なし

回答者数 34

番号	回答	回答数	回答者数に占める割合
1	研究者の給与が十分でない or 柔軟でなく家族のための配慮がなされていない	21	61.8%
2	研究者の家族に対する支援の情報が十分でない、まとまっていない	18	52.9%
3	研究者の家族の健康・医療に関する問題	10	29.4%
4	研究者の家族が健康保険に入れない、十分でない	6	17.6
5	出産・育児に関する問題	17	50.0
6	配偶者との問題	8	23.5%
7	その他	2	5.9%

その他：「単身赴任者に対する職場同僚の理解不足」、「家族に時間を使うために研究の時間を減らす必要があり、時間が足りない」



\*回答別は未作成

質問 13 「特に困ったことのエピソードや、現在日本または居住国で政府や自治体などが行う支援でオススメのもの、それ以外にこんな支援があれば嬉しいこと、当法人に期待することなどを簡単に構いませんので3つ記載いただけますでしょうか。前の質問への回答と重複されても結構です。」

自由記述のため今回は範囲外

質問 14 「差し支えなければ、海外留学・赴任に帯同しなかった理由（出産や子どもの受験の時期と重なった、自分のキャリアとの兼ね合い、費用が十分でなかった、など）を教えてください」

自由記述のため今回は範囲外

質問 15 「留学・赴任に関する資金的余裕や海外での生活への不安が解決すれば、海外留学・赴任に帯同したと思いますか？」

総計 家族の帯同機会あったが帯同せず

番号	回答	回答数	割合
1	大いにそう思う	10	32.3%
2	そう思う	5	16.1%
3	どちらとも言えない	8	25.8%
4	そうは思わない	3	9.7%
5	全くそう思わない	5	16.1%
計		31	100%



小計1 研究者の家族 日本在住 家族の帯同機会あったが帯同せず

番号	回答	回答数	割合
1	大いに思う	0	0.0%
2	そう思う	0	0.0%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	そうは思わない	1	50.0%
5	全くそう思わない	1	50.0%
計		2	100%

小計2 研究者 日本在住&海外在住 家族の帯同機会あったが帯同せず

番号	回答	回答数	割合
1	大いに思う	10	34.5%
2	そう思う	5	17.2%
3	どちらとも言えない	8	27.6%
4	そうは思わない	2	6.9%
5	全くそう思わない	4	13.8%
計		29	100%

質問 16 「周囲の研究者の家族で留学・赴任中に大変だったケースなどあれば、差し支えない範囲で教えてください（配偶者の体調不良で帰国しなければならなかった、親の介護で帰国しなければならなかった、など）。」

自由記述のため省略